

報道関係者 各位

2022年11月14日  
株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント  
(東証プライム 2124)

## IT 業界 海外就職・転職希望者向けオンラインセミナー【レポート】

### 東南アジア、イギリス、日本

# 海外の IT 業界では、DX に関する求人が急増

世界 11 カ国で人材紹介事業を展開し、東南アジアでは最大級の規模(※1)を誇る株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント(代表取締役会長兼社長:田崎ひろみ)は、2022年10月19日(水)「IT 業界 海外就職・転職希望者のための無料オンラインセミナー」を東南アジア 5 カ国(シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア)、英国、および日本の計 7 拠点合同で開催し、2022 年下半期のアジア・欧州における IT 専門職の求人マーケットの最新動向について解説しました。

ここでは、セミナーの内容を一部抜粋してご紹介します。

(※1) 自社調べ (アジアで人材紹介事業を展開する同業他社の売上規模を比較)

### 【セミナー概要】

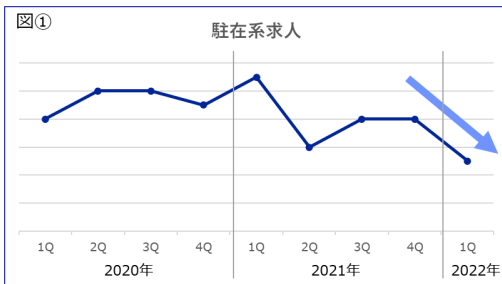
名称:IT 業界 海外就職・転職希望者のための無料オンラインセミナー

開催日時:2022年10月19日(水)

主催:株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント(東南アジア 5 カ国、英国、日本の計 7 拠点合同)

### 【2022 年 IT 業界トレンド概況】

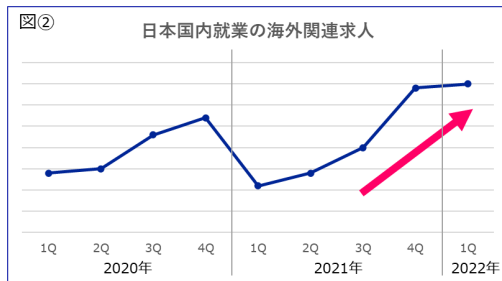
#### ●現地採用ニーズが活況な一方、駐在員採用は低調



日系企業の日本本社における「海外駐在」前提の求人案件については原則ダウントレンドとなっています(図①参照)。

しかし日本国内にて就業しつつ海外をサポートする(出張ベースを含む)海外関連求人については、増加傾向にあります(図②参照)。

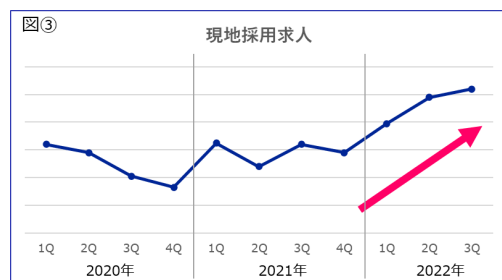
一方、東南アジアおよび英国における「現地採用」求人数については、2022 年に入って以降、一貫して右肩上がりの推移を続けています。前年同期比ベースでみると、2022 年第 1 四半期は 22%増、第 2 四半期は 104%増、第 3 四半期は 63%増と、大幅な伸びとなっています(図③参照)。



IT 業界に限らず、世界における「駐在員」の数は年々減少しています。コスト削減、現地マーケットイン、など背景はさまざまですが、日系企業の経営現地化の進展とともに、日本語が必要なポジションであっても、敢えて日本から人を送らず現地採用する潮流が強まっています。

特に IT 業界を鑑みた際には、日系 IT 企業の多くが、人がリソースである SI ビジネスを営んでおり、海外における有力なプロダクトを持っている企業が少ないため、多額のコストをかけて人材を海外へ送り出すモデルを導入し難い構造となっています。そういった要因がある中で、海外現地における DX を中心とする顧客ニーズの多様化の影響も有り、より多様なスキルセットが必要となる求人が増えています。

「駐在員」削減トレンドに対しての「現地採用」ニーズの高まりというコントラストが、ここに反映されていると言えるでしょう。



JAC Recruitment 自社調べ

※実数ベースの比較では、「現地採用ポジション」:「海外駐在ポジション」が 10:1 ほどの割合、「現地採用ポジション」:「日本国内の海外関連ポジション」は 4:1 ほどの割合となっています。

※求人数データは、JAC Recruitment の受注ベース情報を元に計算しています。

## ●デジタルトランスフォーメーション(DX)に関する求人が増加

海外関連の IT 求人における代表例は下記の通りです。

「現地採用ポジション」については幅広い職種がある一方で、「駐在ポジション」については、ユーザー側(事業会社)における ERP プロジェクト管理、蓄積されたデータ活用のためのデータサイエンティスト、DX 推進のコンサル、セキュリティ関連に限られている傾向があります。

全体を通じ、デジタルトランスフォーメーションに関するニーズが非常に高まっており、こうしたマーケットトレンドを踏まえ、スキルを身に付けていくことも大切です。

### IT 提供側(現地採用メイン)

- ・PM、SE、営業
- ・DX コンサルタント
- ・データサイエンティスト/AI エンジニア
- ・クラウド技術者、モダナイゼーションプロジェクト経験者
- ・セキュリティ人材

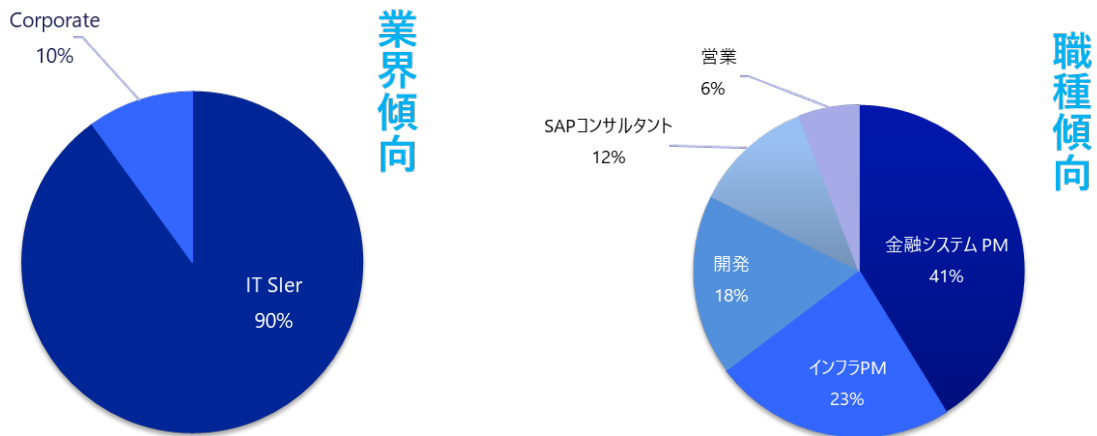
### IT 利用側(現地採用に加え、駐在ポジションも一部存在)

- ・グローバル IT 戦略
- ・ERP 導入
- ・データサイエンティスト
- ・情報セキュリティ、サイバーセキュリティ

## 【各国(国・地域別)情報】

### ●UK・欧州・アメリカ

90%以上が IT ベンダー(SIer)からの求人。特に金融システム×PM 経験者はニーズが高い。英語力はビジネス以上(TOEIC800 点以上)が最低条件。



UK、欧州、アメリカでは、90%以上が IT ベンダー(SIer)からの求人です。

経験年数 5~10 年程度、シニア~マネージャーレベルでの SIer 経験者が求められるケースが多く見られます。

短期間での転職はネガティブな印象と映る事が多く、各社 3 年以上、勤務している人が求められる傾向があります。

- ・金融 IT システム PM
- ・金融システム Java
- ・インフラエンジニア
- ・PM (サーバー/ネットワーク)
- ・SAP コンサルタント (FI/CO/SD)、PM
- ・DX 営業マネージャー・開発 (C#など)

上記のポジションでは、比較的ビザサポートが得られることが多く、特に金融システムの PM 経験者はロンドン・ニューヨークにポジションが多くあり、採用の温度感も高い傾向があります。

英語に関してはビジネスレベル以上が最低条件（TOEIC 目安 800 点以上）となります。

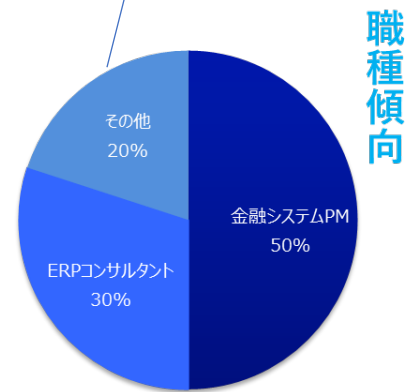
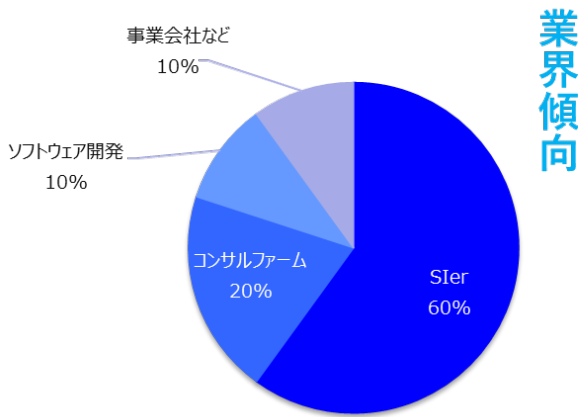
給与に関しては、経験、ポジションにもよりますが 650～1500 万円程（2022 年 1～10 月の実績より）となっています。

## ●シンガポール

金融機関向けシステム開発・導入における PM/PMO のニーズが圧倒的。  
次いで ERP システム導入に関するコンサルタントのニーズが高い傾向。

※その他の内訳

ソフトウェアエンジニア、クラウドアーキテクト、営業、  
その他コンサルタントやプロジェクトマネージャー



シンガポールでは、Sier（IT コンサルティング）とコンサルティングファームが、求人のほとんどを占めています。

ソフトウェア開発（自社プロダクト）に関しては、日本語能力が必要とされないため、経験重視となります。

英語力に関しては、社内外でのやりとりで英語を使用するため、業界・職種にかかわらず、ビジネスレベルの英語力が必須となります。

職種に関しては、金融機関向けのシステム開発・導入の PM/PMO の求人が圧倒的に多く、次いで、SAP など ERP システム導入コンサルタントのニーズが高い傾向があります。

その他、求人数は少なくなりますが、ソフトウェアエンジニア、データサイエンティスト、クラウドアーキテクトなどの求人もあります。

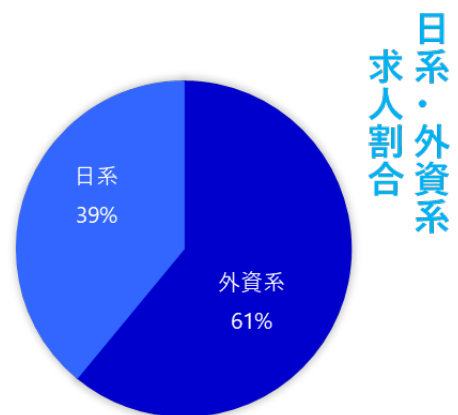
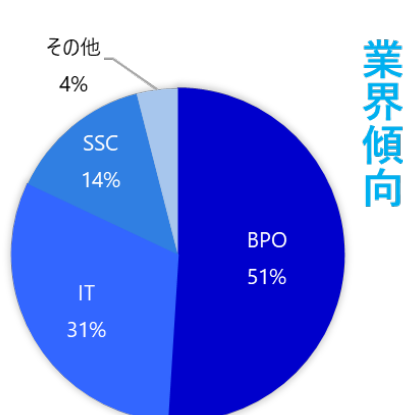
エンジニアやプロジェクトマネージャーなどの職種では、アプリとインフラに専門性が分かれ、どちらかを極めながらキャリアアップを図ることが一般的となっています。

シンガポールでは、世界中から集まってきた優秀な人材から IT 技術・スキルを学ぶことができ、自己成長の場としては、最適な環境であると言えるでしょう。

## ●マレーシア

営業職、中でもインサイドセールスのニーズが高まっている。

ブリッジ SE や PM では、SE や PMO の経験と、開発工程に関する理解があれば、採用の可能性も。



マレーシアでは、BPO（ビジネス プロセス アウトソーシング。開発案件やテクニカルサポート、デジタルマーケティングなどの外注されたプロジェクトを請け負う企業）も多く、IT 人材の需要が高い業界です。また、IT においては、Sierやオフ

ショア開発、通信業界からの需要、SSC(シェアード サービス センター。企業の事業部やグループ会社の機能を一か所に集約、業務を標準化・簡素化し、コスト削減や効率化を図る機能を持つ)のIT関連職種においては、セールスやプロセールの部門を構える企業が多く、これらの求人が9割以上となっています。

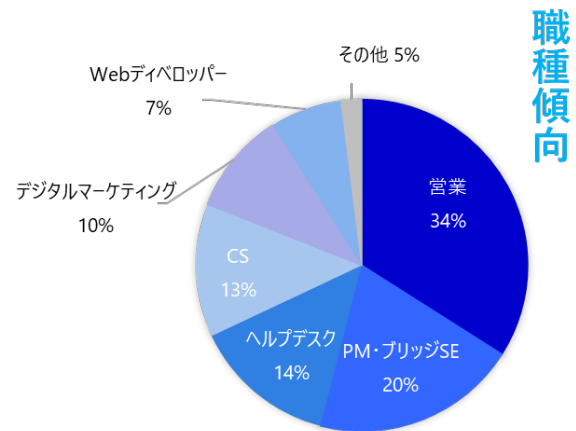
BPO や SSC のほとんどが外資系企業であるため、マレーシアのIT関連職種の求人は、外資系企業の求人が日系企業の求人数を上回ります。

英語力に関しては、ヘルプデスク系は、社内コミュニケーションレベル、IT技術系では、ビジネスレベルが求められます。

職種別では、

- ・営業、インサイドセールス
- ・SE、ブリッジ SE、PM
- ・ヘルプデスク、テクニカルサポート
- ・デジタルマーケティング、EC 運用
- ・Web デベロッパー
- ・IT 監査、コンサルタント

など、比較的多様な職種があると言えます。



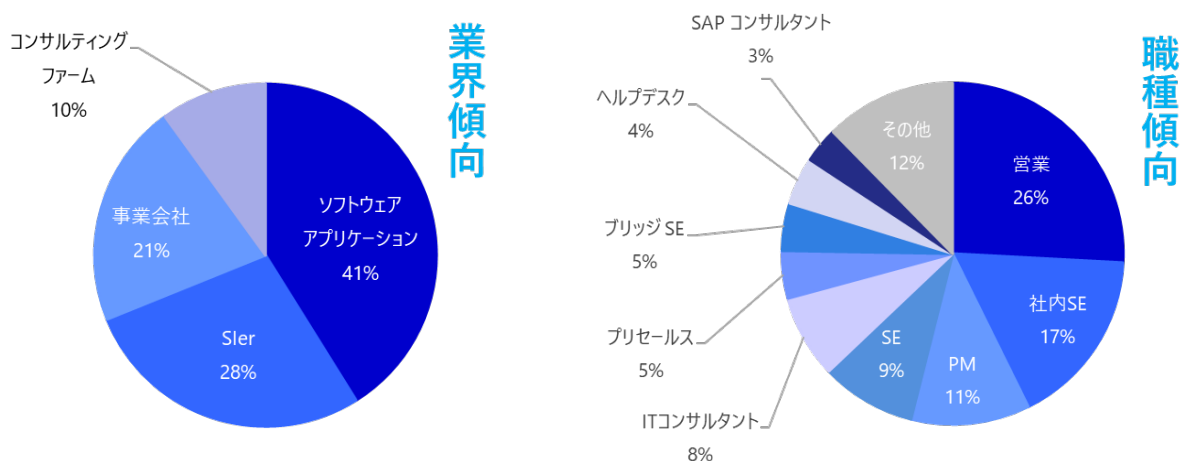
営業職のうち、9割以上がインサイドセールスに関する求人です。コロナ禍以降、従来のフィールドセールスからインサイドセールスに移行する企業が増え、そのセールス機能をマレーシアに構える企業が増えています。オンラインで気軽に商談ができるようになった今、今後も、インサイドセールスの需要が高い状況が続くことが予想されます。

基本的には経験者を対象とした求人がほとんどですが、ブリッジSEやPMに関しては、その職種自体の経験がなくとも、SEやPMOの経験があり開発工程に関する理解があれば、採用の可能性があります。また、テクニカルサポート求人においては、ITリテラシーがあれば応募できるなど、一部ポテンシャル採用をしている企業もあります。

## ●タイ

IT領域は慢性的な人手不足で、売り手市場。

就労ビザ、ワークパーミットも取得しやすく、幅広い職種の選択肢がある。



タイでは、コロナ以降、ソフトウェア(アプリケーション)開発・Slerでの求人が多数を占めます。

事業会社からは、マネージャー以上の比較的高めのポジションも出てきています。

一方でコンサルティングファームは、日系大手ならびに外資系大手が進出してきており、外資系企業では母数こそ少ないものの、日系クライアントの窓口としてのポジションがあります。

タイは東南アジア諸国の中で、日系企業の進出数が最も多いため、就労ビザ、ワークパーミットが取得しやすく、職種も広く選択肢があります。

しかし、業界未経験で応募可能な求人はほぼなく、いずれも業界経験3~5年以上が求められます。

英語力に関しては、日常会話上級レベル以上(TOEIC600~700点目安)が必要です。

職種別では営業職が 26%を占めており、一般的には法人営業を指しています。

また、社内 IT、PM、SE、IT コンサルタント、プリセールス、インフラエンジニアなど、専門職もあります。

近年では、デジタルマーケティング、EC 管理、UI・UX デザイナーなど、今までニーズが少なかった職種も出てきています。

9 割以上が日系企業からの求人となっており、特に社内 IT は現地化推進に伴い、駐在員を減らし現地採用をするケースが少しずつ増えており、PM などマネジメント要素が求められるポジションなども、現地採用が増えています。

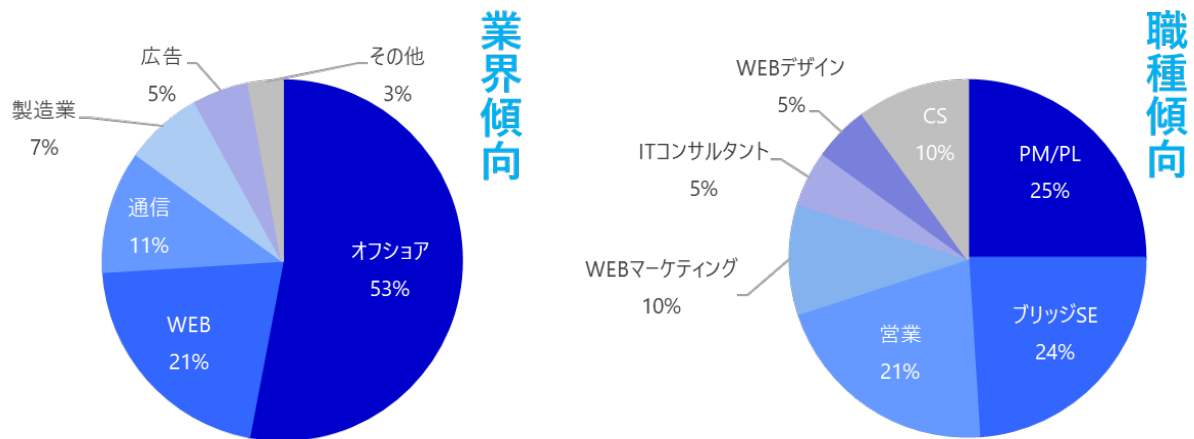
IT 領域は慢性的な人手不足が続いており、売り手市場のため、いろいろな職種につけるチャンスが多いです。ただし、ポジションによっては、タイを含む海外経験を求められる場合があります。

タイでは現在、国家プロジェクトとして、「タイランド 4.0」の名称でデジタル経済へのシフトを推進しており、今後 IT 領域で大きくビジネスチャンスが増える見通しです。

## ●ベトナム

専門性の高いポジションより、PM やブリッジ SE といった、間接的に管理するポジションの求人が多い傾向。

就労ビザの取得が容易で、求められる英語力のハードルも比較的low。



ベトナムは、平均年齢が 31 歳と若く、人口も増加傾向にあり、魅力的なマーケットがあることから、近年、海外進出先として注目されています。

また、IT 企業に対する税制優遇措置があり、優秀なベトナム人エンジニアも多いことから、IT 企業のベトナムへの進出が増えています。

また、就労ビザの取得も比較的容易です。以下は、ビザの取得条件です。

### VISA(労働許可証)の取得条件

#### <専門家>

- ・大学卒業資格
- ・3 年以上の勤務経験の証明(複数社の合算も可能)
- ・無犯罪証明(犯罪経歴証明)

#### <技術者>

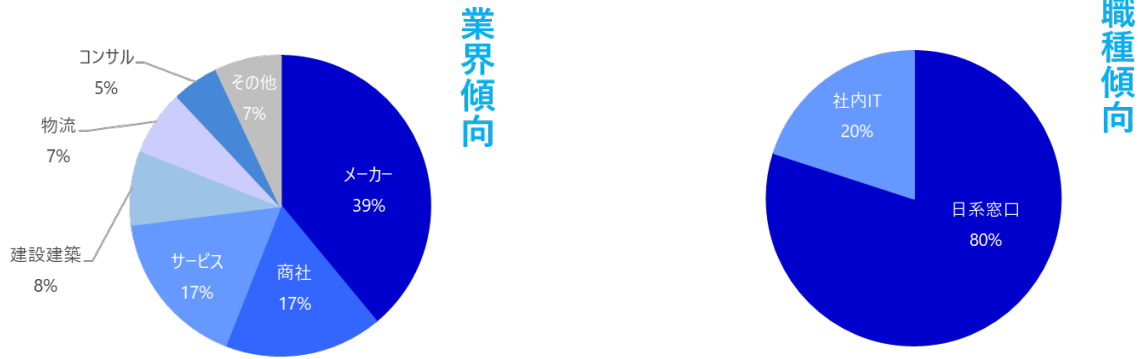
- ・3 年以上の勤務経験の証明(複数社の合算も可能)
- ・1 年以上のトレーニング経験の証明
- ・無犯罪証明(犯罪経歴証明)

職種別では、プログラマーなどの専門性の高いポジションより、PM やブリッジ SE といった、間接的に管理するポジションの求人が多く見られます。

また、ベトナムは、求められる英語力が東南アジア諸国の求人と比べ比較的low傾向にあります。

## ●インドネシア

営業であれば、未経験でも IT 業界への転職が可能。



インドネシアにおける IT 業界の求人は、日系メーカーとその関連業界に向けたシステム開発、コンサルタント、販売などがメインとなります。

求められる求人職種としては、IT コンサルタントやシステム営業で、これらは、日系クライアントの窓口としてのポジションが求められています。いずれも未経験者の応募が可能となっています。

社内 IT に関しては、日本本社の IT との連携体制を構築することが求められ、この職域での経験が求められます。

セールスエンジニアに関しては、エンジニア視点の営業やそのフォローアップが主な業務となります。

また、デジタルマーケティングのスキルは、コンサルタントや営業といった職種で求められています。

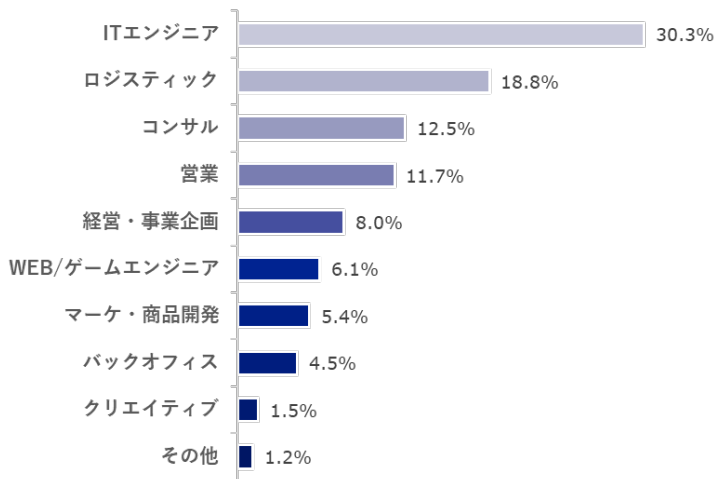
インドネシアの IT 求人の特徴として、営業であれば、未経験でも IT 業界への転職が可能という点が挙げられます。

また、エンジニア職は、社内 IT が主な職種となります。

## ●日本

クラウド系の資格をもつ IT エンジニアに高いニーズ。AI、データサイエンティスト、コンサルタントの需要も高い。

転職者の年齢は上昇傾向。海外からのフルリモート可の求人も。



IT エンジニアに関しては、さまざまなポジションで求人があります。特にクラウド系、AWS、Azure、GCP、それらの有資格者のニーズが高くなっています。また AI、データサイエンティストのニーズも、IT 提供側、事業会社側双方で、非常に高まっています。

コンサルタントという職種も非常にニーズが高いです。アクセンチュアやビッグ 4 と呼ばれる大手のファームだけではなく、富士通、NEC、日立など、日系の Sier がコンサルティング機能を持ち始めています。その他、広告代理店や商社なども、社内外にコンサルティングの機能を持つことがトレンドになっています。

定年退職の年齢が上がっていることに加え、企業が年齢問わず即戦力を求めることが増えているため、全体的に、転職者の年齢は上昇傾向にあります。

また、コロナをきっかけに、フルリモート可の求人が増加傾向にあります。まだ数は少ないですが、海外からのフルリモートを認めている企業も出てきており、新しい海外就業の形態となりつつあります。

今、あらゆる業界で、デジタルを活用した新規事業開発に力を入れている企業が増えており、デザインシンキングや人間中心設計(HCD)などの手法を用いて開発ができる人材が求められています。

## 【資料】

### ● COVID-19 に起因する選考・VISA 発給 最新状況

国	選考状況	求人状況	ビザ発行スピード
イギリス	※特定のビザサポート案件について 国内・国外から どちらも可	ビザサポート求人は以前から限られており、求人数は 平時と変わらない  国内在住者優先	ウクライナ情勢で平時よりも時間がかかる
シンガポール	国内・国外から どちらも可	例年並みに回復 国外からも選考可能な求人も増加	通常通り (2～4 週間程度)
マレーシア	国内・国外から どちらも可	例年並みに回復 条件・経験がマッチすれば国外からも積極的に選考	通常通り (1～2 カ月程度)
タイ	国内・国外から どちらも可	例年並みに回復 国内在住者優先の傾向はあるが、条件・経験がマッチ すれば国外からも積極的に選考	通常通り (2、3 日間程度)
ベトナム	国内・国外から どちらも可	例年並みに回復 国内在住者優先の傾向はあるが、条件・経験がマッチ すれば国外からも積極的に選考	通常よりも手続きに時間がかかる (3 週間～1 カ月半程度)
インドネシア	国内・国外から どちらも可	例年並みに回復 条件・経験がマッチすれば国外からも積極的に選考	通常通り (1～2 カ月程度)

### ● COVID-19 に起因する入国規制 最新状況

国	フライト状況	入国規制 隔離など	入国時費用
イギリス	減便だが毎日運航	入国規制及び隔離、ともになし	航空券(9～14 万円)
シンガポール	毎日運航	ワクチン接種している場合： ①ワクチン接種証明書 ②SG アライバルカードの提出 ワクチン接種が完了していない場合： 出発前 2 日以内に受検した PCR または抗原迅速検査の陰性証明書提出	航空券(5～15 万円)
マレーシア	毎日運航	入国規制及び隔離、ともになし	航空券(8～15 万円)
タイ	毎日運航	入国規制及び隔離、ともになし	航空券(5～10 万円)
ベトナム	毎日運航	入国規制及び隔離、ともになし	航空券(5～11 万円)
インドネシア	減便だが毎日運航	入国規制及び隔離、ともになし	航空券(5～10 万円)

### 【株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント】

1988 年設立。スペシャリストや管理職の人材紹介に特化し、企業と人材を一人のコンサルタントが同時に担当する「両面型」のビジネスモデルとして国内最大規模の東証プライム市場上場企業です。国際ビジネス経験をもつ人材の紹介も強みの一つで、日本国内では外資系企業や日系企業の海外事業などのグローバル領域の売上が全体の 50%以上を占めています。外資系企業の人材紹介に特化した JAC International、ジョブサイトの「キャリアクロス」を運営するシー・シー・コンサルティング、英国、ドイツおよびアジア 8 カ国で人材紹介業を展開する JAC Recruitment International Ltd のグループ会社、コンサルティング・金融業界に特化した人材紹介事業を展開するバンテージポイント傘下に、世界 11 カ国、25 拠点で事業を展開するグローバル企業です。

[URL] <http://corp.jac-recruitment.jp> (コーポレートサイト) <http://www.jac-recruitment.jp> (転職サイト)

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント

広報事務局 PR 会社アネティ 担当: 波多野・仲村

Tel: 03-6421-7397 e-mail: [hatano@anety.biz](mailto:hatano@anety.biz)